

ROF Reader 5.1 マニュアル

株式会社ビーエスピー

はじめに

ROF ReaderはROF（Report Object File）に格納された帳票イメージの画面表示及び印刷を行うアプリケーションです。

また画面表示を行わず印刷のみ実行することもできます。

ROF Readerは起動時にパラメータを指定することにより様々な制御を行えるので他のユーザアプリケーションに容易に組み込むことができます。

- ※ OSの表示フォントとプリンタの印刷フォントの違いなどにより、ROF Readerで表示した帳票イメージとROF Readerから印刷した印刷結果は一致しない場合があります。

FormHelper、フォームエディタ、DURL、ROF Composer、ROF Reader、GateWareServerは、株式会社ビーエスピーの商標または登録商標です。

Windows、Microsoftは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている社名および製品は、各社の商標または登録商標です。

目 次

1. インストール	1
1.1 動作環境	1
1.2 インストールの前に	2
1.3 ROF Readerのインストール	2
1.4 アンインストール	5
2. ROF Readerで扱えるファイル	6
3. ROF Readerの起動方法	7
3.1 エクスプローラから起動	7
3.2 エクスプローラからファイルを右クリックする	7
3.3 スタートメニューから起動	7
3.4 ファイル名を指定して実行	8
3.5 インターネット経由のROF Readerの起動	8
4. 画面操作	9
4.1 ROF Readerの起動画面	9
4.2 印刷	12
4.2.1 印刷ダイアログ	12
4.3 検索	15
4.3.1 通常検索	16
4.3.1.1 フィールド選択モード	16
4.3.1.2 フィールド選択動作	17
4.3.1.3 検索動作	18
4.3.1.4 検索ダイアログ	18
4.3.1.5 検索結果表示	20
4.3.1.6 検索結果ダイアログ	21
4.3.2 PVPDL全文検索	22
4.3.2.1 PVPDL全文検索の機能制限事項	22
4.3.2.2 PVPDL全文検索動作	23
4.3.2.3 PVPDL全文検索ダイアログ	24
4.3.2.4 PVPDL全文検索結果表示	24
4.4 表示倍率	25
4.4.1 表示倍率ダイアログ	25
4.5 ページジャンプ	26
4.5.1 ページジャンプダイアログ	26
4.6 フォーム固定移動	27
4.6.1 ページの表示	27

4.7 フォーム切り替え	28
4.7.1 トレースフォーム	28
4.7.2 次フォーム	28
4.7.3 前フォーム	28
4.8 動作環境設定	29
4.9 色の変更	30
4.10 フォーム色	31
4.11 バージョン情報	32
4.11.1 バージョンダイアログ	32
5. ユーザアプリケーションからの起動方法	33
6. エラーメッセージ	36
7. 機能制限	39
8. 用紙の向きについて	40
9. OCR-Bフォントの使用	41
10. 半角文字の幅を全角文字の半分に固定	42
11. バーコードの詳細設定	43
11.1 バーコードに関するセクションの記述	43
11.2 UCC/EAN-128の設定	44
11.3 QRコードの設定	46
11.4 バーコード出力ロジックの変更	47

1. インストール

この章では、ROF Readerの動作環境、インストールとアンインストールの手順について説明します。

1.1 動作環境

本製品は以下のOSに対応しております。

Windows Server 2003（日本語版 32-bitのみ）

Windows Vista Business（日本語版 32-bitのみ）

Windows Server 2008（x86）（日本語版）

Windows Server 2008（x64）（日本語版）

Windows Server 2008 R2（x64）（日本語版）

Windows Server 2012（日本語版）

Windows 7（x86）（日本語版）

Windows 7（x64）（日本語版）

Windows Server 2012 R2（日本語版）

Windows 8.1（x86）（日本語版）

Windows 8.1（x64）（日本語版）

動作保障OSについて

OSメーカーがサポートを終了した場合、そのOS特有の問題に関するサポートは致しかねます。そのためOSメーカーがサポートを終了したOSについては、動作保障外とさせていただきます。

推奨スペックは以下のとおりです。

CPU PentiumⅢ 500MHz

メモリ 64MB

1.2 インストールの前に

ROF Readerをインストールする前に、以下の操作を行ってください。

- 旧バージョンのアンインストール

旧バージョンのROF Readerがインストールされている場合は、旧バージョンをアンインストールしてから、新バージョンをインストールしてください。

- Administrator権限でのログイン

ROF Readerのインストール先のOSに、Administrator権限でログインします。

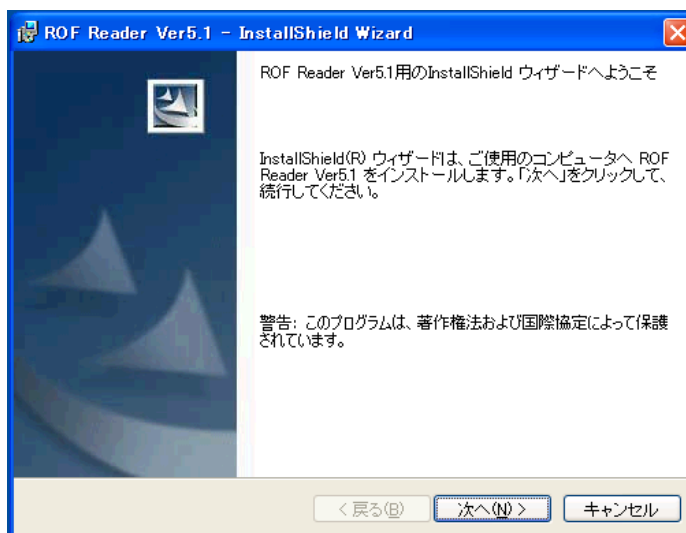
ROF Readerのインストール作業は、必ず、インストール先へのAdministrator権限を持つユーザで実行してください。

1.3 ROF Readerのインストール

インストールは以下の手順で行います。

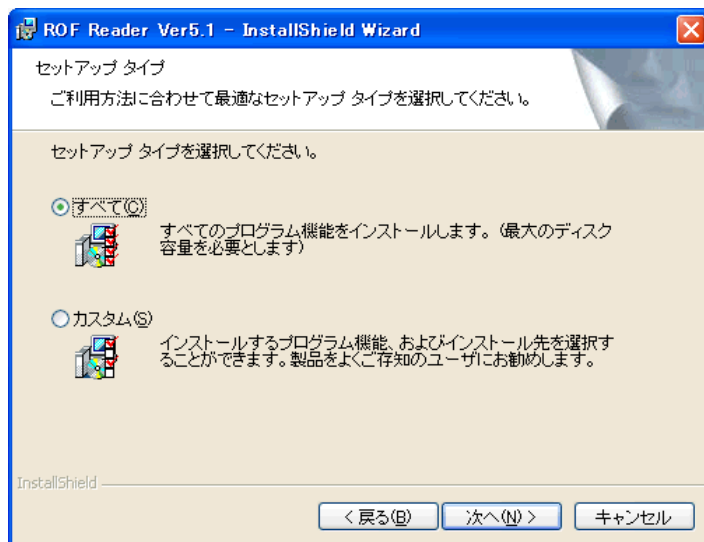
1. ROF Reader CD-ROMをCD-ROMドライブへ挿入します。
2. エクスプローラでCD-ROMの内容を表示し、rrxxxx.exe（xxxxはバージョン番号）をダブルクリックします。

インストーラが起動して次のダイアログが表示されます。



3. <次へ>をクリックします。

セットアップタイプの選択ダイアログが表示されます。



4. セットアップするタイプを選択します。

インストールする内容によって、以下のタイプを選択します。

- **すべて**

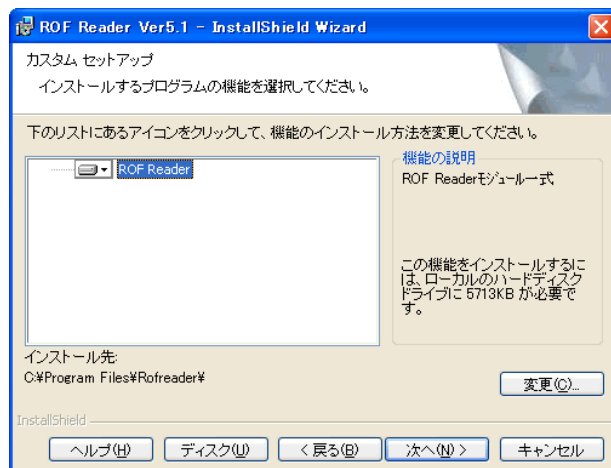
ROF Readerが次のフォルダにインストールされます。

¥Program Files¥Rofreader

通常は、この項目を選択してください。

- **カスタム**

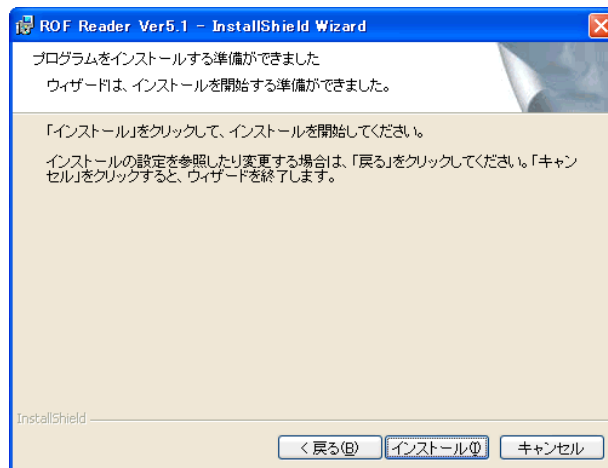
インストール先フォルダを指定することができます。この項目をオンにして、<次へ>をクリックするとカスタムセットアップダイアログが表示されます。



<変更>をクリックするとインストール先フォルダの変更ダイアログが表示されるので、フォルダを指定してください。

5. <次へ>をクリックします。

インストール準備のダイアログが表示されます。



6. <インストール>をクリックします。

インストールが開始されます。

メッセージにしたがってインストールを完了してください。

1.4 アンインストール

ここでは、ROF Readerのアンインストールについて説明します。

アンインストールは、以下の手順で実行します。

1. 「コントロールパネル」の「プログラムの追加と削除」をダブルクリックして起動します。

プログラムの追加と削除ダイアログが表示されます。

OSがWindows VISTA、Windows Server 2008以降の場合は、「コントロールパネル」の「プログラムのアンインストール」をクリックして「プログラムのアンインストールまたは変更」ダイアログを表示します。

2. 「現在インストールされているプログラム」リストの「ROF Reader Ver5.1」を選択して<削除>をクリックします。

OSがWindows VISTA、Windows Server 2008以降の場合は、右クリック後に出るメニューから<アンインストール>を選択してください。

次のダイアログが表示されます。



3. <はい>をクリックします。

アンインストールが開始されます。

以降は、メッセージにしたがって、アンインストールを行ってください。

2. ROF Readerで扱えるファイル

ROF Readerは以下の拡張子のファイルを扱えます。

ROF形式 (*.ROF, *.ROF3)

ファイルの表示と印刷が可能なファイル形式です。

注意！ ただしROFファイルは作成時に表示や印刷が禁止されているファイルもあり、その場合は表示や印刷ができません。

ROP形式 (*.ROP)

開くと自動的に印刷が実行されるファイル形式です。

以降、本書ではROF形式とROP形式のファイルをまとめて「ROFファイル」と記載します。

3. ROF Readerの起動方法

ROF Readerの起動方法には以下の方法があります。

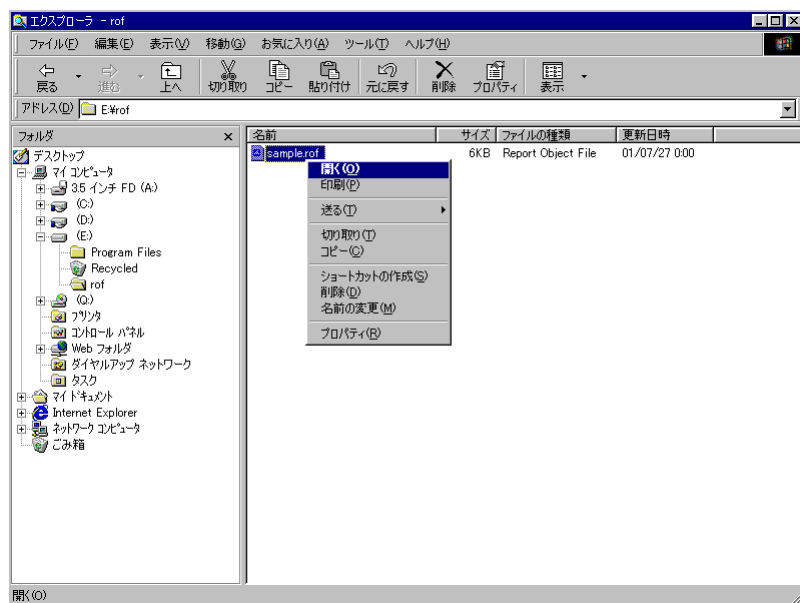
3.1 エクスプローラから起動

エクスプローラよりROFファイルをダブルクリックします。

3.2 エクスプローラからファイルを右クリックする

エクスプローラよりマウスでROFファイルを右クリックするとメニューが開きます。

「開く(O)」または「印刷(P)」を選択すると、ROF Readerが起動して、当該ファイルが読み込まれます。



3.3 スタートメニューから起動

[スタート]-[すべてのプログラム]-[ROF Reader Ver5.1]-[ROF Reader]を選択してください。

3.4 ファイル名を指定して実行

[スタート]-[ファイル名を指定して実行 (R) ..]を選択し起動します。



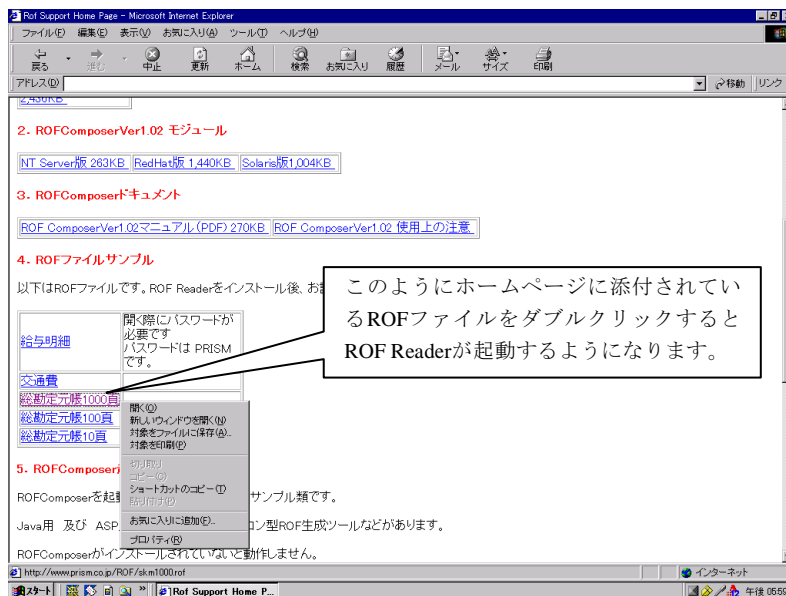
3.5 インターネット経由のROF Readerの起動

ROF Readerをクライアントにインストールすると、自動的に拡張子ROF（ROF3を含む）とROPのファイルの関連付けとMIMEタイプが設定されます。

ROF形式のMIME : application/x-rofreader

ROP形式のMIME : application/x-rofprint

Webサーバに、上記のMIMEタイプを設定することによりROFファイルがダウンロードされるとインターネットエクスプローラ等のブラウザから自動的にROF Readerが起動されます。





● メニューバー

ファイルメニュー

ファイル(F)	編集(E)	表示(V)
開く(F)...	Ctrl-O	
保存(S)...	Ctrl-S	
印刷(P)...		
ROF Readerの終了(X)		

- ROFファイルを開きます
- ROFファイルを保存します ※1
- 4.2 印刷 ※2
- ROF Readerの終了

※1 保存を許可していないROFファイルの場合には、選択できません。

※2 印刷を許可していないROFファイルの場合には、選択できません。

編集メニュー

編集(E)	表示(V)
✓ フィールド選択(F)	
検索(S)...	

- 4.3.1.1 フィールド選択モード
- 4.3 検索

表示メニュー

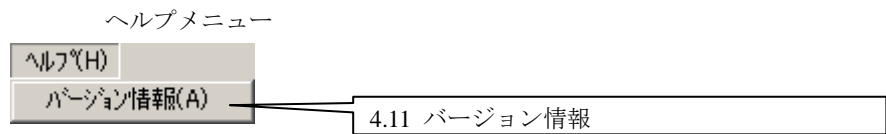
表示(V)	オプション(O)
表示倍率(Z)...	
次ページ(N)	
前ページ(P)	
ジャンプ(J)...	
先頭ページ(T)	
最終ページ(E)	
次フォーム(F)	
前フォーム(G)	
フォーム色(C)	
フォーム固定移動(X)	

- 4.4 表示倍率
- 次ページに移動します
- 一つ前のページに移動します
- 4.5 ページジャンプ
- 先頭ページに移動します
- 最終ページに移動します
- 4.7.2 次フォーム
- 4.7.3 前フォーム
- 4.10 フォーム色
- 4.6 フォーム固定移動

オプションメニュー

オプション(O)	ヘルプ(H)
動作環境設定(E)...	

- 4.8 動作環境設定



● ツールバー



よく使用する機能についてはツールバーからでも実行することができます。

【項目】（左から順番に説明）

印刷ボタン

ファイルメニューの印刷を実行します。

フィールド選択ボタン

編集メニューのフィールド選択を実行します。

検索ボタン

編集メニューの検索を実行します。

次ページボタン

表示メニューの次ページを実行します。

前ページボタン

表示メニューの前ページを実行します。

ジャンプボタン

表示メニューのジャンプを実行します。

先頭ページボタン

表示メニューの先頭ページを実行します。

最終ページボタン

表示メニューの最終ページを実行します。

フォーム固定移動ボタン

表示メニューのフォーム固定移動を実行します。

次フォームボタン

表示メニューの次フォームを実行します。

前フォームボタン

表示メニューの前ページを実行します。

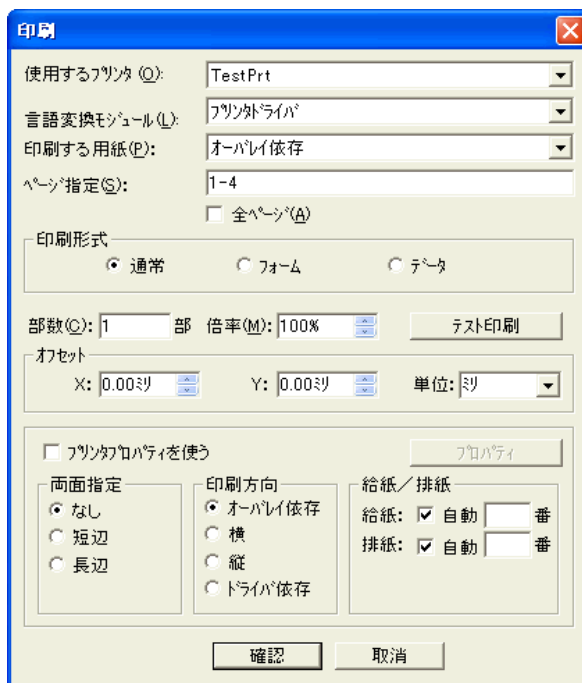
表示倍率ボタン

表示メニューの表示倍率を実行します。

4.2 印刷

ファイルメニューの＜印刷＞を選択すると印刷ダイアログが表示されます。

4.2.1 印刷ダイアログ



印刷ダイアログボックスのスクリーンショット。タイトルは「印刷」。

使用するプリンタ (P): TestPrt

言語変換モジュール (L): プリンタドライバ

印刷する用紙 (P): オーバレイ依存

ページ指定 (S): 1-4

☐ 全ページ (A)

印刷形式

☒ 通常 ☐ フォーム ☐ テーマ

部数 (Q): 1 部 倍率 (M): 100%

テスト印刷

オフセット

X: 0.00mm Y: 0.00mm 単位: mm

☐ プリンタドライバを使う

印刷方向

☒ オーバレイ依存 ☐ 横 ☐ 縦 ☐ ドライバ依存

給紙/排紙

給紙: ☒ 自動 番

排紙: ☒ 自動 番

確認 取消

【説明】

ROFに格納された帳票の印刷機能を持つダイアログです。

【項目】

使用するプリンタ

印刷に使用するプリンタを選択します。Windowsに既に登録してあるプリンタから選択します。

言語変換モジュール

印刷時に使用するプリンタ言語モジュールを選択します。ご使用になるプリンタに対応した言語をお選びください。

印刷する用紙

印刷する用紙を選択します。用紙の種類は使用するプリンタによって異なります。オーバーレイ依存を選択した場合は個々のオーバーレイ作成時の用紙設定を使用します。ドライバ依存を選択した場合はプリンタドライバの設定（注¹）を使用します。

ページ指定

印刷するページ指定を行います。1から10ページまでのように連続ページを印刷する場合：1-10 のようにハイフンでつなぎます。1ページと10ページのように連続していないページ指定をする場合：1,10 のようにカンマで区切ります。連続と不連続とを組み合わせることもできます。1-10,20,30 は1から10ページまでと20ページと30ページを出力という意味になります。

全ページ

全ページ出力のときは、チェックします。

印刷形式

通常の場合はオーバーレイとデータを印刷します。
フォームの場合はオーバーレイのみ印刷します。
データの場合はデータのみ印刷します。

部数

印刷する部数を入力します。設定範囲は、1～999999です。

倍率

印刷時の倍率を設定します。範囲は50%～200%までを指定します。なお、フォーム作成時の[帳票設定]／[印刷倍率]も共に設定した場合には双方を掛けた倍率で印刷されます。

テスト印刷

データ部分をテスト用のデータに変更して印刷を行います。用紙等の印刷設定は画面の情報を使用します。

オフセット

印刷オフセット値を指定します。単位は「ミリ」と「インチ」から選択できます。設定範囲は、-99.00～999.00です。

プリンタプロパティを使う

プリンタドライバの設定（注¹）による印刷を行う場合、チェックします。

プロパティ

現在選択されているプリンタドライバの設定（注¹）を変更します。

両面指定

プリンタ、および言語変換モジュールが対応している場合のみ指定可能です。

印刷方向

用紙の向きを指定します。指定がオーバーレイ依存の場合は個々のオーバーレイ作成時の用紙向きで出力されます。指定がドライバ依存の場合はプリンタドライバの設定（注¹）を使用します。

給紙／排紙

給紙トレイおよび排紙トレイを指定します。(プリンタ、および言語変換モジュールが現在のところ対応していないため、指定しても無視されます。)
設定範囲は1～9999です。

確認

この設定を確定しダイアログを閉じ、印刷実行をします。

取消

この設定を取り消してダイアログを閉じ、印刷実行をしません。

注¹ (プリンタドライバの設定とは)

OSに設定されているプリンタドライバの設定値を使用します。

4.3 検索

ファイルメニューの＜検索＞を選択すると検索ダイアログが表示されます。

ROFの内のデータがROF形式のデータかPVPDL形式かにより検索の動作が異なります。なおROF Readerは自動的にこの2つの形式を判断し動作します。

CSV形式のデータ：『4.3.1 通常検索』を参照してください。

PVPDL形式のデータ：『4.3.2 PVPDL全文検索』を参照してください。

CSV形式のデータ

CSV形式のデータとは、フォーム内にフィールド設定を含む、帳票形式のことを言います。(通常はこちらです)

PVPDL形式のデータ

PVPDL形式のデータとは、フォーム内にフィールドデータを含まない、弊社製品GateWareServerを経由し出力を行っているメインフレームからの帳票形式です。

4.3.1 通常検索

通常検索の場合、検索は2段階のステップを踏みます。

ツールバーを拡大



4.3.1.1 フィールド選択モード

編集メニューの<フィールド選択>を選択するかツールバーのフィールド選択ボタンをクリックしフィールド選択モードに入ります。

「フィールド」とはフォームにデータを貼り合わせる位置とその属性のことです。

フィールドの番号、方向、文字間、文字サイズ、書体、書式、文字飾りの属性を持っています。「フィールド選択」とはそれらのフィールドの中から検索対象となる物を抜き出す処理です。

◆フォーム作成(フォームエディタで作成)

平成~~フィールド1~~年~~フィールド2~~月~~フィールド3~~日

顧客別納品台帳

フィールド4	フィールド5	フィールド6
フィールド7	フィールド8	フィールド9
フィールド10	フィールド11	フィールド12
フィールド13	フィールド14	フィールド15

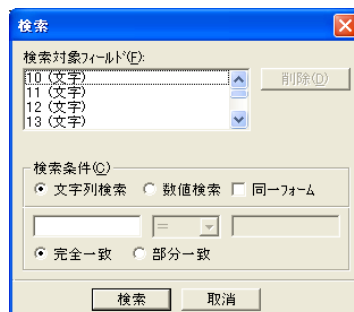
4.3.1.3 検索動作

ツールバーを拡大



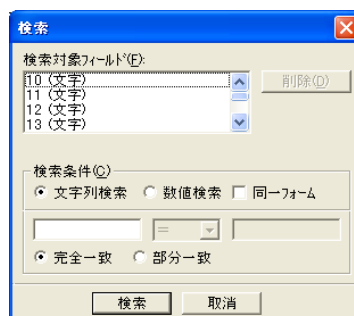
フィールド選択が完了すると検索ボタンが有効になります。

編集メニューの<検索>を選択するかツールバーの検索ボタンをクリックすると検索ダイアログが表示されます。



検索条件を確認後、検索ボタンをクリックしてください。検索が開始されます。

4.3.1.4 検索ダイアログ



【説明】

検索条件を入力します。

【項目】

検索対象フィールドリスト

フィールド選択で矩形選択された領域内のフィールド番号およびフィールド種が表示されます。

削除

「検索対象フィールド」リストより選択されたフィールドを検索対象から外します。検索条件（文字列検索／数値検索）：検索する条件を選択します。

検索条件（文字列検索／数値検索）

検索する条件を選択します。

検索条件（検索条件入力域）

- 左 : 検索条件を入力します。
- 中央 : 数値検索を選択した場合にのみ検索条件の演算子を指します。
- 右 : 演算子に対応する条件を入力します。

検索条件（同一フォーム）

検索対象ページが、フィールド選択されたフォームと同一フォームのページのみとなります。サイクリック帳票で使用します。

検索条件（完全一致／部分一致）

「文字列検索」を選択した場合にのみ選択できます。

検索

設定した内容を確定し、ダイアログを閉じ、検索を開始します。

取消

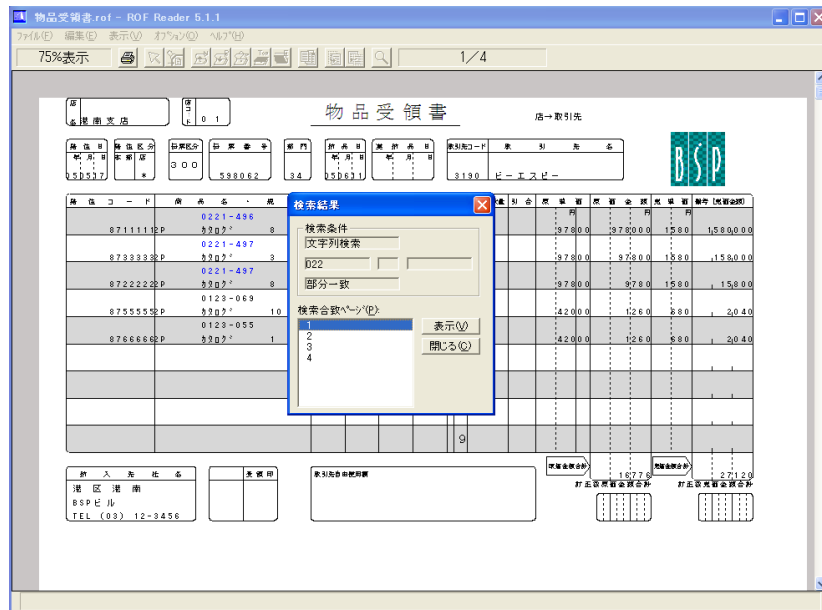
設定した内容を取り消し、ダイアログを閉じます。

4. 画面操作

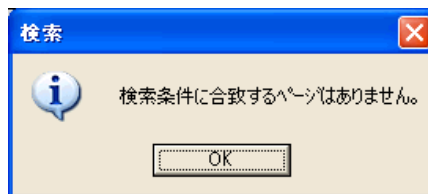
4.3.1.5 検索結果表示

検索条件に合致したフィールドが検索された場合は、検索結果ダイアログが表示されます。

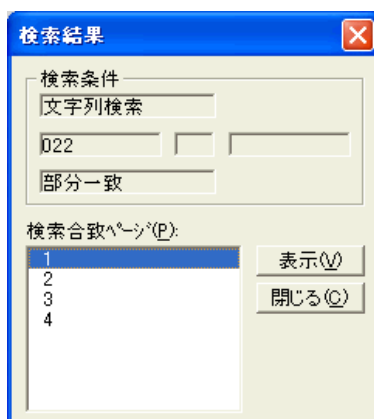
検索条件に合致したフィールドが検索されなかった場合はエラーメッセージが表示されます。



検索結果を表示中は、画面制御は検索結果ダイアログ移動し、メニューおよびツールバーの制御は無効になります。



4.3.1.6 検索結果ダイアログ

**【説明】**

検索条件に合致したフィールドが検索された場合に表示されます。

【項目】**検索条件**

指定した検索条件が表示されます。

検索結果合致ページ

検索条件に合致するページがリストで表示されます。

表示

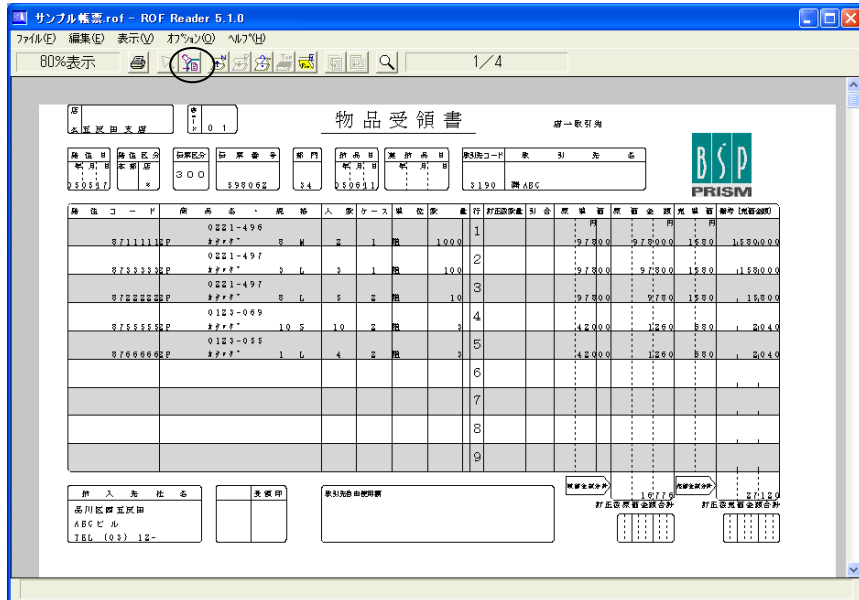
「検索合致ページ」リストで選択したページを表示します。

閉じる

ダイアログボックスを閉じます。

4.3.2 PVPDL全文検索

PVPDL全文検索はPVPDL形式のROFファイルのデータを検索する専用の機能です。
PVPDL帳票はフィールドが存在しないため、ROF表示時から検索ボタンが有効になっており、フィールド選択は不要です。



ツールバーを拡大

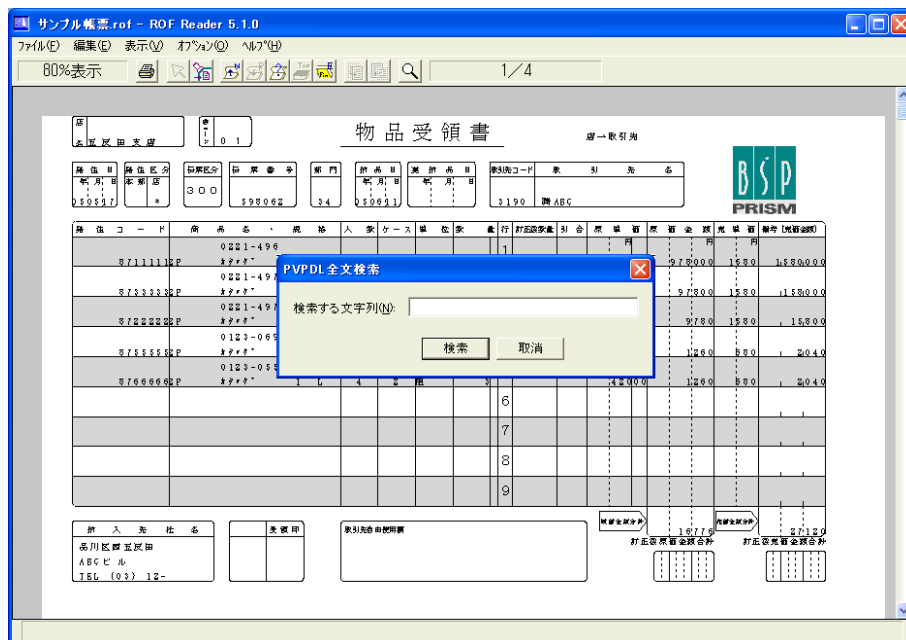


4.3.2.1 PVPDL全文検索の機能制限事項

PVPDL帳票はデータの構造上、文字列しか検索できません。ただし数字も文字列としてなら検索することができます。またフィールドも存在しないため、検索一致したページを検索合致フィールドの表示色で色分けすることができません。
また外字、全角スペース、半角スペース文字は検索対象となりません。

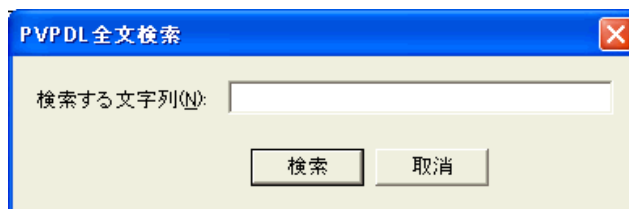
4.3.2.2 PVPDL全文検索動作

編集メニューの＜検索＞を選択するかツールバーの検索ボタンをクリックするとPVPDL全文検索ダイアログが表示されます。



検索条件を確認後、検索ボタンをクリックしてください。検索が開始されます。

4.3.2.3 PVPDL全文検索ダイアログ



【説明】

PVPDL帳票全文検索条件を入力します。

【項目】

検索する文字列

全文検索する文字列を入力します。
制御コード、半角スペースおよび全角スペースは検索文字対象外のため、検索ボタン押下時にエラーになります。

検索

設定した内容を確認し、ダイアログを閉じ、検索を開始します。

取消

この設定を取り消してダイアログを閉じます。

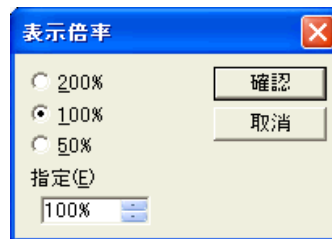
4.3.2.4 PVPDL全文検索結果表示

PVPDL全文検索の検索結果表示の動作は通常検索と同じです。
ただし、検索結果ダイアログに表示される検索条件は「文字列の完全一致」のみになります。

4.4 表示倍率

表示メニューの＜表示倍率＞を選択すると表示倍率ダイアログが表示され、ROFファイルの表示状態を変更することができます。

4.4.1 表示倍率ダイアログ



【説明】

表示されている帳票のサイズを、任意のサイズに変更します。

【項目】

表示倍率

200%、100%、50%の既定値より選択することもできます。値の入力、あるいは矢印ボタンによる値の変更も可能です。(範囲：10%～800%)

確認

帳票のサイズを確定して表示倍率ダイアログボックスを終了し、表示のサイズを変更します。

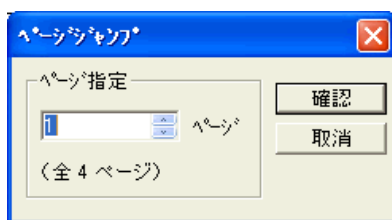
取消

帳票サイズを変更せずに、表示倍率ダイアログを終了します。

4.5 ページジャンプ

表示メニューの＜表示倍率＞を選択すると表示倍率ダイアログが表示され、ROFファイルの表示状態を変更することができます。

4.5.1 ページジャンプダイアログ



【説明】

指定したページを表示します。

【項目】

ページ指定

表示させたいページを入力します。

確定

指定したページを確定して、ダイアログを閉じ、ページ指定されたページを表示します。

取消

指定したページを取り消して、ダイアログを閉じます。ページは以前に表示されたものと変わりません。

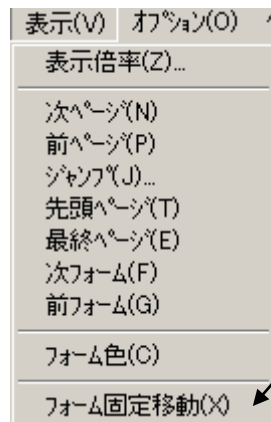
4.6 フォーム固定移動

表示メニューの＜フォーム固定移動＞を選択するか、ツールバーのフォーム固定移動ボタンをクリックし、フォーム固定移動モードに入ります。

ツールバー



メニュー



4.6.1 ページの表示

フォーム固定移動モードを使用することにより、現在表示しているフォームと同じフォームのページのみを表示することができます。サイクリック帳票で使用します。

ページ	1ページ	2ページ	3ページ	4ページ	5ページ	6ページ	
フォーム	請求書 フォーム	請求書 (控) フォーム	請求書 フォーム	請求書 (控) フォーム	請求書 フォーム	請求書 (控) フォーム	...
通常 モード	1ページ目	2ページ目	3ページ目	4ページ目	5ページ目	6ページ目	...
フォーム 固定移動 モード	1ページ目		3ページ目		5ページ目		...

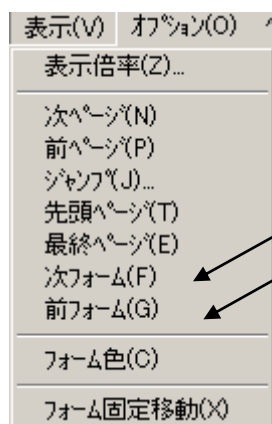
4.7 フォーム切り替え

ROFファイル内のデータがトレースフォームを含んだデータの場合は、フォーム切り替えボタンが有効になります。

ツールバー



メニュー



トレースフォームを含み、
表示できるフォームがある
場合に有効になります。

4.7.1 トレースフォーム

トレースフォームとは、複写伝票の様な1ページ分のデータでフォームが複数必要な場合に使用するフォーム形式です。

※ 請求書と請求書（控）の2フォームを規則的に繰り返す場合の例

ページ	1ページ	2ページ	3ページ	4ページ	5ページ	6ページ	
フォーム	請求書 フォーム	請求書 (控) フォーム	請求書 フォーム	請求書 (控) フォーム	請求書 フォーム	請求書 (控) フォーム	...
通常 モード	1件目用 データ		2件目用 データ		3件目用 データ		...

4.7.2 次フォーム

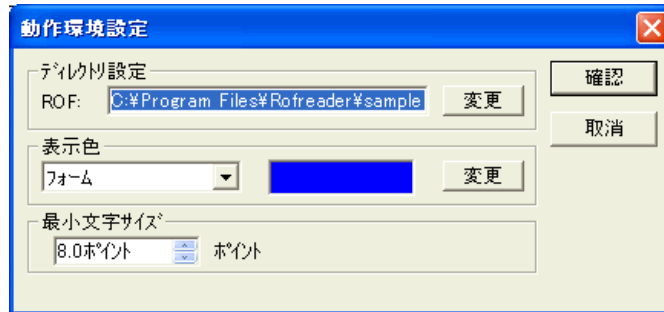
次のフォームに移動し表示します。

4.7.3 前フォーム

一つ前のフォームに移動し表示します。

4.8 動作環境設定

オプションメニューの＜動作環境設定＞を選択すると動作環境設定ダイアログが表示され、ROF Readerの動作環境を変更することができます。



【説明】

ROF Readerの動作環境を設定します。

【項目】

ディレクトリ設定

ファイルメニューの＜開く＞で最初に表示したいROFファイルの保存フォルダを指定します。

表示色

▼をクリックすると表示されるリストからROFファイルを表示する際に色分けして表示する項目を選択します。変更ボタンをクリックすると、色の変更ダイアログ（『4.9 色の変更』参照）が表示されるので、指定色の変更が行えます。色の変更が可能な項目は以下のとおりです。

フォーム

フォームとテキストデータを色分けして表示する際のフォーム表示色です。（『4.10 フォーム色』参照）

バックグラウンド

ファイルを表示しているウィンドウの背景色です。

検索合致位置

CSV検索処理で検索条件に一致した項目の表示色です。

最小文字サイズ

表示される帳票文字の最小サイズをポイントで指定します。

確定

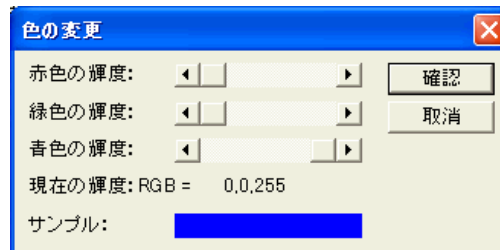
ここでの設定を確定してダイアログボックスを閉じます。

取消

ここでの設定を取り消してダイアログボックスを閉じます。

4.9 色の変更

オプションメニューの＜動作環境設定＞で変更したい表示色を選び、変更ボタンをクリックすると色の変更ダイアログが表示され色の変更を行うことができます。



【説明】

色の情報を変更します。

【項目】

輝度（赤色・緑色・青色）

スクロールバーで赤色・緑色・青色それぞれの輝度（0～255）を設定します。

現在の輝度

現在選択されている輝度を数値で表示します。

サンプル

現在選択されている輝度の色のサンプルを表示します。

確定

色を確定して色の変更ダイアログボックス閉じます。

取消

色を変更せずに色の変更ダイアログボックスを終了します。

4.10 フォーム色

表示メニューの＜フォーム色＞を選択するとROFファイル内のフォームデータ部分が動作環境設定で指定されているフォーム色で色分けされ表示されます。もう一度、表示メニューの＜フォーム色＞を選択すると元に戻ります。

● フォーム色での表示例

物品受領書 rof - ROF Reader 5.1.1

75%表示 1/4

店名: 品名: 数量: 単位: 色: サイズ: 材質: 備考: 店→取引先

品コード	品名・規格	入数	ケース	色	サイズ	材質	備考	数量
9711111P	0221-496	8	M	2	1	紺	1000	1
9733333P	0221-497	3	L	3	1	紺	100	2
9722222P	0221-497	8	L	5	2	紺	10	3
9755555P	0123-069	10	S	10	2	紺	3	4
9766666P	0123-055	1	L	4	2	紺	3	5
								6
								7
								8
								9

納入先: 港区 港南
BSPビル
TEL (03) 12-3456

受領印

取引先自由使用欄

店→取引先

4.11 バージョン情報

ヘルプメニューの＜バージョン情報＞を選択するとROF Readerのバージョン情報が表示されます。

4.11.1 バージョンダイアログ

ROF Readerのバージョンを表示します。

5. ユーザアプリケーションからの起動方法

ROF Readerは起動パラメータにより、印刷指定等が行えます。

実行形式：rofreader.exe [ROF名][起動パラメータ]

● 起動パラメータ

-M

設定するとメインウィンドウが表示されずに直接印刷が実行されます。

-D

設定するとメインウィンドウが表示されずに印刷ダイアログだけが表示されます。そのまま印刷実行が可能です。

-B

設定するとバックグラウンド印刷を実行します。

-S [印字開始ページ]

印字開始ページを指定します。

-E [印字終了ページ]

印字終了ページを指定します。

-N [出力部数]

印刷部数を指定します。

-P [プリンタ名称]

出力プリンタを指定します。

-W [両面指定]

両面印刷の方法を指定します。

SHORT : 短辺とじ

LONG : 長辺とじ

-K [給紙トレイ番号] (本パラメータは未対応です)

給紙トレイ指定を行います。

-J [排紙トレイ番号] (本パラメータは未対応です)

排紙トレイ指定を行います。

-L [言語番号]

言語番号を指定します。指定可能なプリンタ言語は以下のとおりです。

10 : プリンタドライバ

-R [印刷マージンX,印刷マージンY]

印刷マージンを指定します。指定単位はmmです。マイナスの値も指定できません。

-Z [用紙サイズ名]

用紙サイズを指定します。対応している用紙は以下のとおりです。

A3

A4

A5

B4

B5

OVL : 個々のオーバーレイ作成時の用紙設定を使用します

DRV : プリンタドライバの設定（注!）を参照し用紙を設定します。

-G [印刷倍率]

印刷倍率を指定します。50-200%

-U [ユーザ名]

ユーザ名を指定します。

-A [パスワード]

パスワードを指定します。

-V [用紙向き指定]

用紙の向きを指定します。

0 : 用紙向きをオーバーレイから自動的に取得する

1 : 横

2 : 縦

3 : プリンタドライバの設定（注!）を参照し用紙を設定します。

-O [印刷形式]

印刷形式を指定します。

0 : オーバレイとデータを印刷します。

1 : オーバレイのみ印刷します。

2 : データのみ印刷します。

未指定の場合は0（オーバーレイとデータ）で印刷されます。

-T [テスト印刷]

テスト印刷を指定します。直接印刷（-M）を同時に指定しないと指定が無視されます。

1 : テスト印刷を行う。

-Y [プリンタドライバの設定（注¹）の使用]

印刷の指定を切り替えます。ROFファイルにより言語番号が10以外に設定されている場合無視されます。上記の様なROFファイルを強制的にプリンタドライバの設定（注¹）で印刷する場合には、-Lのパラメータに10を指定してください。

0 : ROF Readerの印刷設定を使用します。

1 : プリンタドライバの設定（注²）を使用します。

注¹（プリンタドライバの設定とは）

プリンタドライバの印刷設定で指定された値を使用します。

注²（プリンタドライバの設定とは）

-Yのパラメータで1を指定した場合、プリンタドライバの設定と重複する以下の指定は無視されます。

-W [両面指定]

-K [給紙トレイ番号]

-J [排紙トレイ番号]

-Z [用紙サイズ名]

-V [用紙向き指定]

6. エラーメッセージ

ROF Readerの実行の際、エラーダイアログに出力される主なメッセージを以下に示します。

No.	エラーメッセージ	理由
1	このファイルは画面表示が禁止されています。	画面表示禁止情報が付加されているROFファイルです。
2	このファイルは印刷が禁止されています。	印刷禁止情報が付加されているROFファイルです。
3	このファイルは画面表示及び印刷が禁止されています。	画面禁止情報および印刷禁止情報が付加されているROFファイルです。
4	指定されたプリンタは接続されていないので印刷できません。	起動パラメータで指定された、プリンタが印刷可能でない場合、表示されます。
5	ユーザ情報入力に失敗しました。	Ver1形式のROFファイルでパスワードの入力に失敗した場合に表示されます。
6	ユーザ名の入力エラーです。	Ver2形式のROFファイルでユーザ名の入力に失敗した場合に表示されます。
7	パスワード入力エラーです。	Ver2形式のROFファイルでパスワード入力に失敗した場合に表示されます。
8	ROFファイルの解凍に失敗しました。	ROF Readerのインストールドライブの容量または仮想メモリが不足している場合に表示されます。 ブラウザのキャッシュをクリアしてください。 またVer3以前のROF ReaderでVer3形式以降のROFファイルを開いた場合も表示されます。
9	このファイルは別のプロセスよりロックされています。	ROFファイルは複数プロセスが同時にアクセスすることはできません。
10	本製品はこのファイル形式のROFに対応していません。	現在お使いのROF Readerに指定のROFファイルの形式読み込みモジュールが実装されていない場合に表示されます。

バックグラウンド印刷 (-B) 時、0が返された場合は正常終了、0以外の場合はエラーとなります。発生時に返されるエラーコードは以下のとおりです。

エラーメッセージ	エラーコード
このファイルは画面表示が禁止されています。	-1
解凍プログラムのPATH所得に失敗しました	-2
このファイルは画面表示及び印刷が禁止されています。	-3
指定されたコンフィグファイルは読み込めません	-4
コンフィグファイルが指定されていません	-5
データファイルに誤りがあります。	-6
メモリが足りません	-7
指定されたフォームがありません	-8
指定のデータファイルは存在しないか、アクセスできません。	-9
データファイルに誤りが在るか、デリミタが間違っています	-10
データファイルが空です	-11
フォーム記述子の解析で失敗しました	-12
このファイルは印刷が禁止されています。	-13
プリンタが1台も接続されていないので印刷はできません。	-14
プリンタが列挙できません	-15
指定されたプリンタは接続されていないので印刷できません。	-16
言語番号のエラーです	-17
言語変換モジュールがロードできません	-18
言語変換モジュールが不正です	-19
プリンタがオープンできません	-20
テンポラリファイルが開けません	-21
ヘルプファイルがありません	-22
指定されたROFファイルは存在しません	-23
ROFファイルのオープンに失敗しました	-24
オーナー保護有無所得に失敗しました	-25
オープンファイル名の取得に失敗しました	-26
ROFファイル名の取得に失敗しました	-27
このファイルは別のプロセスよりロックされています	-28
ユーザ情報入力に失敗しました	-29
ROFファイルの解凍に失敗しました	-30
ユーザ名の入力エラーです	-31

エラーメッセージ	エラーコード
パスワード入力エラーです	-32
スルー情報の所得に失敗しました	-33
ROFはスルーデータです。 本製品はスルーデータに対応していません。	-34
帳票データの獲得に失敗しました	-35
ジョブ情報の獲得に失敗しました	-36
プリンタ情報の獲得に失敗しました	-37
外字情報の獲得に失敗しました	-38
ROFファイルのロックに失敗しました	-39
ミューテックスオブジェクトの生成に失敗しました	-40
ROFファイルの保存に失敗しました	-41
本製品はこのファイル形式のROFに対応していません。	-42
現在使用中のROF読み込みライブラリは最新ではありません。 バージョンUPを行ってください。	-43
ページ指定が正しくありません。	-44
倍率の指定が正しくありません。	-45

コマンドプロンプトでバッチファイルなどによりエラーコードを取得する場合は、以下を参考にしてください。

```
rofreader suuchi.rof -G 49 -B
echo %ERRORLEVEL%
```

上記の例では、エラーコード「-45」（倍率の指定が正しくありません。）となります。

7. 機能制限

1. ハードスペックの限界を超えて、ROF Readerを複数起動すると、マシンの動作が不安定になる場合があります。
2. 検索文字の有効文字数は半角256文字、全角128文字です。
3. フォームの文字列フィールドに設定する文字サイズに制限はありません。ROF Readerが動作しているマシンのハードスペックに依存します。弊社では以下の環境で半角1500文字のフィールドが10個存在するROFファイルを扱えることを確認しています。

本体メモリ

他のアプリケーションが起動していない状態
4. ROF Readerの印刷機能はフォームエディタの回転文字に対応していません。フォームエディタで文字フィールドとフォーム文字に対して、「文字列方向」または「回転角」を指定した帳票をROF Readerで印刷した場合、横書きまたは縦書きとして印刷されます。

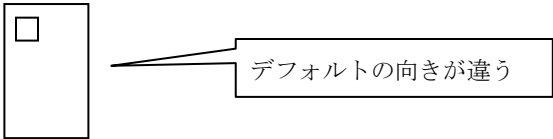
8. 用紙の向きについて

ROFの用紙の向きは、デフォルトでオーバーレイ依存となっており、DURLとは印刷方向が異なります。ROF3.2以前との互換性を考慮して、設定ファイルにて、デフォルトの用紙の向きをオーバーレイ依存、縦、横、ドライバ依存を切り替えることが可能です。用紙の向きの優先順位は 起動パラメータ> 設定ファイル >ROF生成時の指定となります。

DURL 自動（デフォルト）



ROF オーバーレイ依存（デフォルト）



例)

ROF Reader.icf

[Environment]

Picture = 3 ←ドライバ依存

rofreader.icfのセクションおよびキー名

セクション名	キー名	内容及び意味
Environment	Picture	0:オーバーレイ依存（デフォルト） 1:横 2:縦 3:ドライバ依存

上記設定がない場合は、デフォルトになります。

DURLと同様にする場合は、「3：ドライバ依存」を指定します。

9. OCR-Bフォントの使用

プリンタドライバでは、OCR-Bフォントを使用できます。

OCR-Bフォントを使用するためには、まず、ROF ReaderのインストールされているマシンにOCR-Bフォントがインストールされている必要があります。OCR-Bフォントは、以下の方法で取得してください。

Microsoft Officeをインストールする

Word, ExcelなどMicrosoft OfficeをインストールすることによりOCR-Bフォントがインストールされます。

フォントを購入してインストールする

別途OCR-Bフォントを購入してインストールします。

また、この機能を使用する場合、設定ファイルに以下の記述が必要です。

設定ファイル

¥Documents and Settings¥<ユーザ名>¥Local Settings¥

Application Data¥Prism¥Rofreader¥default.fpc

<ユーザ名>：OSへログインする際のユーザ名

記述

[FontSet.lg0010-1]

OCR-B=OCRB

すでに[FontSet.lg0010-1]セクションが存在する場合、OCR-B=OCRBを追加してください。

OCR-Bフォントのインストールされていない環境で、設定ファイルにOCR-B=OCRBと記述した場合、OSが代替フォントを使用します。

10. 半角文字の幅を全角文字の半分に固定

プリンタドライバでは、半角文字の幅を全角文字の半分に固定することができます。
この機能を使用する場合、設定ファイルに以下の記述が必要です。

設定ファイル

```
¥Documents and Settings¥<ユーザ名>¥Local Settings¥  
Application Data¥Prism¥Rofreader¥default.fpc  
<ユーザ名> : OSへログインする際のユーザ名
```

記述形式

```
[FontSet.lg0010-1.SCALABLE]  
CreateFontName= フォント名  
Mode=1
```

記述形式

フォント名 : 固定幅にする1バイトフォントを指定します。このフォントは、
[FontSet.lg0010-1]で設定されている必要があります。
CreateFontName : 各セクションに1定義のみ設定可能です。

たとえば、1バイト文字として設定されているOCR-Bフォントの幅を全角文字の半分に固定する場合、以下のように記述します。

記述例

```
[FontSet.lg0010-1.SCALABLE]  
CreateFontName=OCR-B  
Mode=1
```

11. バーコードの詳細設定

ROF Readerでは、設定ファイルの記述によりバーコードの詳細設定を行うことができます。

設定ファイル

設定ファイルは次のファイルです。

```
¥Documents and Settings¥<ユーザ名>¥Local Settings¥
Application Data¥Prism¥Rofreader¥default.fpc
<ユーザ名> : OSへログインする際のユーザ名
```

詳細設定可能なバーコード

詳細設定が可能なバーコードは以下のとおりです。

UCC/EAN-128
QRコード

以降では、バーコードの詳細設定とロジックの変更について説明します。

11.1 バーコードに関するセクションの記述

ここでは、セクションの記述形式について説明します。セクションの記述形式はすべてのバーコードで共通です。

セクションでは、詳細設定を行うバーコードと有効範囲を指定します。複数の有効範囲を指定した場合は、以下の優先順位に従います。

プリンタIDは、DURLで指定することができます。

優先順位	有効範囲	フォーマット
1	プリンタ名とフィールド	[バーコードの種類.PRT:プリンタ名.オーバーレイID.フィールドID] 記述例 [EAN128C.PRT:TESTPrt.sample2.27]
2	プリンタ名	[バーコードの種類.PRT:プリンタ名] 記述例 [EAN128C.PRT:TESTPrt]
4	全帳票に対して有効	[バーコードの種類.Defaults] 記述例 [EAN128C.Defaults]

バーコードの種類

バーコードの種類は以下のとおりに指定します。

UCC/EAN-128 : EAN128C
QRコード : QR

プリンタ名

OSに登録されているプリンタの名称

オーバーレイID

DURLに登録されているオーバーレイID
または、拡張子を除いたファイル名

フィールドID

オーバーレイに配置されたフィールド番号

11.2 UCC/EAN-128の設定

ここでは、UCC/EAN-128バーコードの設定について説明します。

● キーと値

キー	説明 (設定値)	デフォルト値
ELEMENT	最小エレメント幅をmm単位*で指定します。	0.1906mm
ELEMENTREV	黒バー幅の補正をカンマで区切り、4種類個別に指定できます。 1つの値のみ指定した場合は、すべて同一の値に設定されます。	0,0,0,0
QUIETZONE	クワイエットゾーンをmm単位*で指定します。 カンマで区切り、左右個別に指定できます。 1つの値のみ指定した場合は、左右同一の値に設定されます。	2.54mm, 2.54mm
FONTNAME	バーコードの下に表示されるコード番号のフォントを指定します。初期状態では、「ゴシック」または「明朝」から指定できます。他のフォントを指定する場合は、コンフィグファイルにフォントを設定する必要があります。	ゴシック
FONTSIZE	コード番号のフォントサイズをdot、mm、point単位*、またはバーコードの高さに対する比率 (%) で指定します。	バーコードの高さの 3/10 ただし6～9point
LINEPITCH	コード番号の送りの高さをdot、mm、point単位*、または比率 (%) で指定します。この値とフォントサイズの差がバーコードとコード番号の間のスペースとなります。	フォントサイズと同じ値

*単位の指定方法

mm単位：数値の後にmmを付けて指定します。例：2.54mm

Point単位：数値の後にpを付けて指定します。例：8p

dot単位：数値のみ指定します。例：5

● 記述例

例) プリンタ名が「TESTPrt」、DURLに登録したオーバーレイIDが「Sample2」、
フィールドIDが「27」と定義されている場合のEAN128の指定

[EAN128C.PRT:TESTPrt.sample2.27]

ELEMENT=0.1948mm

ELEMENTREV=0,0,0,0

QUIETZONE=2.54mm,2.54mm

FONTNAME=ゴシック

FONTSIZE=8p

LINEPITCH=9p,9p

● 動的DPI値の設定

UCC/EAN-128バーコードは、プリンタドライバが持つ解像度を使用して印刷されます。DURLで設定することはできません。

11.3 QRコードの設定

ここでは、QRコードの設定について説明します。

● キーと値

キー	説明	デフォルト値
LEVEL	誤り訂正レベルをL, M, QまたはHから指定します。	M
VERSION	0～40で型番を指定します。 範囲外の値を指定した場合は、0となります。 0の場合、システムが型番を付与します。	0
MASKINGNO	-1～7でマスク処理のパターンを指定します。 範囲外の値を指定した場合は、-1となります。 -1の場合、システムがマスク処理のパターンを付与します。	-1
QUIETZONE	モジュール単位でクワイエットゾーンの幅を指定します。 4以上の値を設定します。	4
CELLSIZEX	横方向のセルサイズをdot、mm、point単位*で指定します。 ただし、1dot以上の値を設定します。	0.45mm
CELLSIZEY	縦方向のセルサイズをdot、mm、point単位*で指定します。 ただし、1dot以上の値を設定します。	CELLSIZEX で指定した値

*単位の指定方法

mm単位：数値の後にmmを付けて指定します。例：2.54mm

point単位：数値の後にpを付けて指定します。例：8p

dot単位：数値のみ指定します。例：5

● 記述例

例) プリンタ名が「TESTPrt」におけるQRコードの指定

[QR.PRT:TESTPrt]

LEVEL=M

VERSION=0

MASKINGNO=-1

QUIETZONE=4

CELLSIZEX=0.45mm

CELLSIZEY=0.45mm

● 注意事項

1. バーコードの大きさは、VERSION、CELLSIZEX、CELLSIZEYの設定値により決まります。オーバーレイに配置したフィールドの大きさは無視されます。
2. モデル2のみに対応しています。マイクロQRには対応していません。
3. 混合モードのみに対応しています。

11.4 バーコード出力ロジックの変更

Version 3.2よりバーコード（JAN、JAN短縮、NW7、Code39）を出力するためのロジックが変更されました。デフォルトでは旧ロジックを使用しているため、新ロジックを有効にする場合は、以下のファイルの設定値を0（デフォルト）から1に修正します。

ユーザプロファイルフォルダ

¥Documents and Settings¥<ユーザ名>¥

Local Settings¥Application Data¥Prism¥Rofreader

<ユーザ名>：OSへログインする際のユーザ名

ファイル名

rofreader.icf

rofreader.icfのセクションおよびキー名

セクション名	キー名	内容及び意味
BARCODE_FIELD	MAKE_MODE	0（デフォルト）：旧バージョンの出力ロジック 1：新バージョンの出力ロジック
	LEGACY_BAR_HEIGHT	0（デフォルト）：Ver3.2以降のデフォルト出力ロジック 1：Ver3.1.1と同じ出力ロジック

上記設定がない場合は、デフォルトになります。

（設定例）

[BARCODE_FIELD]

MAKE_MODE=0

LEGACY_BAR_HEIGHT=1

ROF Reader 5.1 マニュアル

2014年9月 第9版

株式会社ビーエスピー

〒108-6029 東京都港区港南2-15-1

品川インターシティA棟

TEL 03-5463-6385 FAX 03-5463-6392

<http://www.bsp.jp>

Copyright © 2014 株式会社ビーエスピー

DC3180